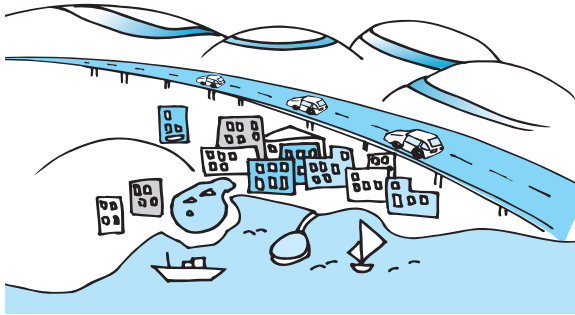


大須賀 林 (自民党市議員)

都市計画道路豊岡大塚線
について

問 事業再開の見通しについて伺う。

答 豊岡大塚線には2本のトンネルがあり、残事業費が大変大きく、市の財政状況では早急な完成は難しいと判断され、平成18年度より事業を凍結している。今後は、道路や橋梁など公共施設の維持管理費用が多額に必要となることも予測され、現時点でも事業を



再開できるほど財政状況が好転しておらず、再開は厳しい状況である。

問 今後の取り組みについて伺う。

答 まずは大塚金野線の早期事業化を目指し、県に対して要望していく。大塚金野線の事業化を優先しながら、将来的に豊岡大塚線の県道としての事業化の可能性を探っていきたいと考えている。

鈴木 将浩 (自民党市議員)

名鉄西尾・蒲郡線の
存続問題について

問 令和3年度以降の存続
合意について伺う。

答 名鉄との協議を早い段階で開始し、運行継続の早期合意を目指す。

若者・青少年のまちづくり
参画について

問 若者議会など行政主導
での事業検討は。

答 他市の動向を注視しつつ、今後の研究課題として考えていく。

持続可能な開発目標
SDGs について

問 国連が定めたSDGs
の市政での取り組み予定を伺う。

答 市民初め市全体にSDGsの理念や考え方を浸透させた上で、まちづくりに反映させたい。

藤田 裕喜 (市政クラブ)

児童館の祝日開館について

問 児童館の祝日開館が難しい理由は。

答 運営体制などの課題がある。子育て支援センターか児童館のいずれかが祝日に開いているとありがたいという声を聞いており、他市の運用状況等を学び、その必要性を研究したい。

子どもの交通安全は

問 通学路や保育園等の散歩コースの交通安全対策について伺う。



答 通学路については、蒲郡市通学路交通安全プログラムを活用し、関係機関との連携・協働を進め、各学校を指導・支援していく。保育園では、園外保育前の下見徹底、各園での訓練等により、交通安全への意識を養うよう努めていく。

日 恵野 佳代 (無党派・日本共産党)

図書館南東交差点における
歩行者の安全対策は

問 東側の横断歩道を南に渡ると、側溝による段差があり、ベビーカーでは歩道に上がることができない。市は整備を行い、歩行者の安全を確保すべきではないか。

答 既設側溝の改良により、横断歩道の段差を解消し、安全を確保したい。

問 家庭ごみの有料化は中止し、分別の徹底で減量を

答 県の資料によると、本市の家庭ごみの量は県内でも中位で、決して多くはない。ごみ処理の有料化は中止すべきではないか。

問 市の資料によると、本市の家庭ごみの量は県内でも中位で、決して多くはない。ごみ処理の有料化は中止すべきではないか。

牧野 泰広 (自由クラブ)

働き方改革について

問 小学校での教科担任制導入の考えと課題は。

